

いま一つの世界を

世界連邦宣言
自治体協新聞

発行
世界連邦宣言自治体
全国協議会
(事務局=京都府綾部市)
〒623-8501綾部市若竹町8-1
TEL (0773) 42-4217
FAX (0773) 42-4905

令和4年度

世界連邦宣言自治体

全国協議会総会

～ハイブリッドで開催～

世界連邦宣言自治体全国協議会(会長=山崎善也綾部市長)の令和4年度総会が7月21日、京都市内で開催された。本年度は会場とオンラインのハイブリッド方式で開催し、

23自治体37人が参加した。

冒頭では山崎善也会長が、ロシアによるウクライナ侵攻により罪のない一般市民が戦禍に遭っていることに、深い悲しみと強い怒りを覚える。

自治体協総会(山崎会長)

国際社会の平和と安全を著しく損なうものであり、力でねじ伏せようとする行為は断じて容認することはできない。今こそ「世界連邦運動」の意義を再確認すると共に、加盟自治体が一致団結して活動を展開していきたいと呼びかけた。

続いて、来賓として会場に出席した世界連

邦推進日本協議会の中野寛成会長代行が祝辞を述べたあと、世界連邦日本国委員会からは、衛藤征士郎会長の祝辞を、谷本真邦事務局長が代読した。総会では、令和3年度の事業・決算報告があったのち、幹事を代表し東京都三鷹市の河村孝市長より監査報告がなされた。

今年度の事業計画は、世界連邦思想の普及啓発や自治体職員1人100円募金運動を引き続き取り組むこととし、すべての議案につき原案どおり承認された。

総会後には、世界連邦推進日本協議会の中野寛成会長代行が「世界連邦と国連改革」と題して講演し、「拒否権を持つ常任理事国のあり方など国連改革が必要であり、今こそ世界連邦のような組織が必要」という考えを示した。



講演を行う中野会長代行

自治体職員一人100円募金にご協力ありがとうございました ～ウクライナ大使館・ユニセフ・UNHCRに寄託～



募金寄託(ウクライナ大使館)

世界連邦宣言自治体全国協議会(会長=山崎善也綾部市長)は5月31日、ロシアの侵攻を受けているウクライナを支援するための救援金300万円を、駐日ウクライナ大使館(東京都港区)に寄託した。同協議会は毎年、世界平和と難民救済のため、全国の自治体職員に「1人100円募金」を募っており、令和3年度は173自治体から計5,195,899円が集まり、世界連邦推進事業基金積立のほか、日本ユニセフ協会と国連UNHCR協会へ100万円ずつ寄託した。また、募金の一部をウクライナ支援に充てることになった。

山崎会長が大使館を訪れ、セメニウク・オレクサンドル公使参事官に手渡した。

米国の臨界前核実験の実施 に対する抗議声明

この度、貴国が2021年6月及び9月にネバダ州において臨界前核実験を実施したとの報に接し、強く抗議します。

綾部市は、1950年10月14日、日本で最初に世界連邦都市宣言を行った自治体であり、市制施行以来一貫して世界の恒久平和実現を訴えてきました。また、同じ趣旨の宣言を行った日本国内の自治体でつくる全国協議会の会長も務めています。

ロシアによるウクライナ侵攻や北朝鮮による核実験再開の兆候など、核兵器使用のリスクが高まる中で明らかとなった貴国による臨界前核実験は、核兵器廃絶を求める国際社会の期待を裏切り、世界の恒久平和実現に逆行する行為として、深く憂慮するものであります。

貴国には、世界の人々の切なる願いに真摯に耳を傾け、世界の恒久平和を追求し「核兵器のない世界」の一日も早い実現に努めるとともに、今後いかなる核実験も繰り返すことがないよう強く要請します。

令和4(2022)年4月15日

世界連邦宣言自治体全国協議会会長
綾部市長 山崎 善也

中国の弾道ミサイル発射 に対する抗議声明

日本政府は8月4日、中国軍が発射した弾道ミサイルのうち5発が我が国の排他的経済水域（EEZ）内に落下したと発表した。

弾道ミサイルの発射は、我が国並びに東アジア地域の平和と安全を脅かす危険な行為として断じて容認できるものではなく、また、日中国交正常化50周年の節目に実施されたことは極めて遺憾である。

新たな国際秩序の構築を謳った世界連邦都市宣言を日本で初めて行い、世界の恒久平和の確立を訴えてきている綾部市は、中国に対し国際協調を重視し真摯かつ慎重な行動をとるよう要請するとともに、今回の行為を強く非難し厳重に抗議する。

令和4(2022)年8月5日

世界連邦宣言自治体全国協議会会長
綾部市長 山崎 善也

北朝鮮の弾道ミサイル発射 に対する抗議声明

本日、北朝鮮が弾道ミサイルを発射した。今回発射された弾道ミサイルは我が国の上空を通過し太平洋へ落下したとみられている。

北朝鮮は過去に例のない頻度で挑発を繰り返しており、我が国並びに東アジア地域の平和と安全を脅かし、国民生活に重大な影響を及ぼす許しがたい暴挙であり、断じて容認できるものではない。

新たな国際秩序の構築を謳った世界連邦都市宣言を日本で初めて行い、世界恒久平和の確立を訴えてきている綾部市は、北朝鮮に対し国際協調を重視し国連安保理決議に違反する行動をやめるよう要請するとともに、繰り返される度を越した挑発行為について強く非難し厳重に抗議する。

令和4(2022)年10月4日

世界連邦宣言自治体全国協議会会長
綾部市長 山崎 善也

令和3年度 世界連邦推進交付金事業

令和3年12月19日から令和4年1月6日まで、交付金を活用し、東京都瑞穂町で渋谷敦志写真展「国境のない世界を夢みて」が開催された。

写真家・渋谷敦志氏が撮影した困難を生きる人間のリアルに迫った写真の数々が展示され、ギャラリートークでは、渋谷氏本人が取材過程や現在の活動について語りながら、展示を案内した。

また、瑞穂町の元気な人たちにスポットを当て、撮影した特別展示も同時開催された。



渋谷敦志写真展

令和5年度 世界連邦推進交付金交付申請

当協議会では、加盟自治体等が実施する世界連邦推進事業に対する交付金制度を運用している。

対象事業は、恒久平和実現のための世界連邦主義を普及し、自治体が連携して世界平和に寄与するという当協議会の目的に沿った事業。

交付金額は、対象経費の10分の10以内で限度額は50万円。なお、国外との交流を主とする事業についてはこの限りではない。申請期限は、12月末まで。